



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月6日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8154 URL <https://www.taxan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門 良一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	173,782	△0.2	5,748	△13.1	6,000	△15.4	4,875	△11.5
2018年3月期第3四半期	174,047	3.9	6,613	27.7	7,093	29.0	5,510	13.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 4,081百万円 (△41.0%) 2018年3月期第3四半期 6,916百万円 (37.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	177.69	—
2018年3月期第3四半期	200.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	152,885	72,937	47.7
2018年3月期	128,755	70,631	54.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 72,852百万円 2018年3月期 70,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2019年3月期	—	35.00	—		
2019年3月期（予想）				40.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2018年3月期 中間配当金の内訳 普通配当25円00銭 特別配当 5円00銭
 2018年3月期 期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 特別配当 5円00銭
 2019年3月期 中間配当金の内訳 普通配当30円00銭 創立50周年記念配当 5円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	22.9	7,700	△5.2	8,000	△8.5	7,300	12.5	266.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	28,702,118株	2018年3月期	28,702,118株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,254,819株	2018年3月期	1,267,393株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	27,437,214株	2018年3月期3Q	27,435,262株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業業績が堅調に推移したことなどにより緩やかな回復基調が続きましたが、米中貿易摩擦問題の長期化による中国経済の減速、それに伴う世界経済の失速懸念など、先行きは不透明な状況が続いております。

かかる状況の中、当社グループは「すべてはお客様のために」の経営理念のもと、顧客からの要請に対応して海外における生産拠点の拡充を進めるとともに、国内においても生産拠点の整備および機能強化を図るなど、EMS（注）ビジネスの拡大に注力してまいりました。前連結会計年度後半より顕在化している、パワー半導体やコンデンサなど一部電子部品における需給逼迫については、車載・空調関連で厳しい状況が続いておりますが、独立系商社としての総合力を活かした部品調達や代替品の提案などにより、当社グループの事業活動への影響低減に最大限努めてまいりました。

これらの結果、当社グループの連結業績における売上高につきましては1,737億82百万円（前年同四半期比0.2%減）、利益面では営業利益が57億48百万円（前年同四半期比13.1%減）、経常利益は60億円（前年同四半期比15.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は48億75百万円（前年同四半期比11.5%減）となりました。

売上高につきましては、一部顧客における生産調整や製品切替えに伴う一時的な数量減などの影響を受けましたが、EMSビジネスが全般的に堅調な受注環境の中で推移したことなどにより前年同四半期並みの水準となりました。一方、利益面では、立ち上げ期にある海外新工場での費用先行などによる影響があり、前年同四半期比で減益となりました。なお、税効果会計の影響により、法人税負担が減少しました。

（注）Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子部品事業（半導体、一般電子部品、EMSなどの開発・製造・販売など）

当事業では、EMSビジネスは車載向けおよび空調機器向けが引き続き順調に推移しましたが、医療機器向けは主要顧客の製品切替えに伴う生産調整により低調に推移しました。部品販売ビジネスは、家電製品向けで主要顧客における生産調整の影響などにより低調に推移しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,248億93百万円（前年同四半期比3.2%減）となり、セグメント利益は37億80百万円（前年同四半期比16.2%減）となりました。

②情報機器事業（パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

当事業では、商業施設向けLED設置ビジネスが引き続き順調だったものの、住宅向け家電販売ビジネスは、販売先の納期調整の影響などにより減少しました。また、パソコン販売については、個人向けが堅調に推移したものの法人向けは低調に推移しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は323億74百万円（前年同四半期比6.8%減）となり、セグメント利益は13億39百万円（前年同四半期比19.3%減）となりました。

③ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

当事業では、CGアニメーション制作やゲームソフトの開発などが堅調に推移しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は19億43百万円（前年同四半期比26.1%増）となり、セグメント利益は1億22百万円（前年同四半期比33.2%増）となりました。

④その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など）

当事業では、アミューズメント業界向けゲーム機器販売が好調に推移しました。また、パソコンおよびPC周辺機器のリサイクルビジネスも堅調に推移しましたが、ゴルフ用品販売が低調に推移しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は145億70百万円（前年同四半期比67.4%増）となり、セグメント利益は4億15百万円（前年同四半期比75.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,528億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ241億29百万円の増加となりました。

流動資産は1,254億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ213億97百万円の増加となりました。これは主に、富士通エレクトロニクス株式会社の株式取得に関連した前払金などにより、その他が242億2百万円増加したことによるものであります。

固定資産は274億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億32百万円の増加となりました。これは主に、繰延税金資産で8億14百万円、投資有価証券で7億59百万円、建設仮勘定で5億76百万円がそれぞれ増加したことによるものであります。

負債は799億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ218億24百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が241億45百万円増加したことによるものであります。

純資産は729億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億5百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益48億75百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年11月6日の「2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました連結業績予想より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,803	24,669
受取手形及び売掛金	45,809	43,448
電子記録債権	4,032	4,470
有価証券	295	225
商品及び製品	15,060	18,416
仕掛品	575	725
原材料及び貯蔵品	3,818	5,653
その他	3,807	28,009
貸倒引当金	△133	△150
流動資産合計	104,069	125,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,870	4,610
機械装置及び運搬具（純額）	2,583	3,102
工具、器具及び備品（純額）	709	850
土地	4,036	4,036
建設仮勘定	10	587
有形固定資産合計	12,210	13,187
無形固定資産		
のれん	317	281
ソフトウェア	515	629
その他	46	42
無形固定資産合計	878	952
投資その他の資産		
投資有価証券	8,688	9,447
繰延税金資産	530	1,345
差入保証金	657	651
保険積立金	943	946
その他	1,363	1,407
貸倒引当金	△587	△520
投資その他の資産合計	11,595	13,277
固定資産合計	24,685	27,418
資産合計	128,755	152,885

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,392	35,789
短期借入金	5,385	29,531
未払費用	3,711	2,979
未払法人税等	901	902
役員賞与引当金	247	2
その他	3,068	3,104
流動負債合計	49,707	72,309
固定負債		
長期借入金	3,161	2,194
繰延税金負債	1,276	1,219
役員退職慰労引当金	1,264	75
退職給付に係る負債	1,737	1,675
資産除去債務	175	178
その他	800	2,295
固定負債合計	8,416	7,638
負債合計	58,123	79,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,853	13,865
利益剰余金	45,183	48,134
自己株式	△2,042	△2,023
株主資本合計	69,127	72,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,504	439
繰延ヘッジ損益	△16	△0
為替換算調整勘定	148	490
退職給付に係る調整累計額	△208	△187
その他の包括利益累計額合計	1,428	742
非支配株主持分	75	84
純資産合計	70,631	72,937
負債純資産合計	128,755	152,885

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	174,047	173,782
売上原価	149,805	149,758
売上総利益	24,242	24,023
販売費及び一般管理費	17,628	18,275
営業利益	6,613	5,748
営業外収益		
受取利息	78	102
受取配当金	110	144
受取手数料	133	152
為替差益	80	—
その他	235	254
営業外収益合計	638	653
営業外費用		
支払利息	99	134
持分法による投資損失	44	68
為替差損	—	122
その他	13	75
営業外費用合計	158	401
経常利益	7,093	6,000
特別利益		
固定資産売却益	26	11
投資有価証券売却益	591	214
子会社株式売却益	467	—
事業譲渡益	12	7
特別利益合計	1,098	233
特別損失		
固定資産除却損	8	5
投資有価証券売却損	23	2
投資有価証券評価損	133	462
減損損失	224	9
ゴルフ会員権評価損	6	5
その他	0	2
特別損失合計	397	487
税金等調整前四半期純利益	7,795	5,746
法人税、住民税及び事業税	1,254	1,460
法人税等調整額	1,015	△599
法人税等合計	2,269	861
四半期純利益	5,525	4,884
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,510	4,875
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	9

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	771	△1,069
繰延ヘッジ損益	0	15
為替換算調整勘定	559	266
退職給付に係る調整額	60	20
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△37
その他の包括利益合計	1,391	△803
四半期包括利益	6,916	4,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,900	4,072
非支配株主に係る四半期包括利益	16	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2017年4月1日至2017年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	129,058	34,745	1,541	8,702	174,047	—	174,047
セグメント間の内部 売上高又は振替高	793	867	656	449	2,767	△2,767	—
計	129,851	35,613	2,197	9,151	176,815	△2,767	174,047
セグメント利益	4,509	1,659	91	236	6,497	115	6,613

(注) 1. セグメント利益の調整額115百万円には、セグメント間取引消去115百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	124,893	32,374	1,943	14,570	173,782	—	173,782
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,151	670	460	3,305	6,587	△6,587	—
計	127,045	33,045	2,403	17,875	180,370	△6,587	173,782
セグメント利益	3,780	1,339	122	415	5,657	91	5,748

(注) 1. セグメント利益の調整額91百万円には、セグメント間取引消去91百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。